

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (5-2)

団体名	特定非営利活動法人 夢ノ森伴走者CUE	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 向山 遥温
事業名	特別養護老人センターを舞台とした「世代間交流カフェ」運営事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(ス タッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
令和5年6月18日	光寿園ロビー	7人(7)	「Caféむすびめオープン前清掃イベント」開催。 10代~20代のスタッフが中心となって集まり、Caféとして間借りする光寿園ロビー部分の清掃イベントを開催。清掃イベント後、Caféで提供するシフォンケーキを試食した。
同年7月15日	光寿園ロビー	50人 (7)	「Caféむすびめ・プレオープン試飲会」開催。 会場となる「特別養護老人ホーム光寿園」ロビーにて、当施設入居者の皆さま、社会福祉法人光寿福社会理事長を含めた施設スタッフの皆さまと共に、地域交流拠点としてのプレオープンを祝賀した。
同年8月5日	Caféむすびめ	18人 (2)	Caféオープン営業。オープンまで秘していたメニューや看板のお披露目を行った。10代のボランティアスタッフがCafé営業を実施。
同年8月19日	同上	6人(2)	10代のボランティアスタッフ・地元有志がCafé通常営業を実施。
同年8月26日	同上	16人 (3)	10代のボランティアスタッフ・地元有志がCafé通常営業を実施。 施設入居者の皆さまだけでなく、地元住民の皆さまにも来店いただいた。
同年9月18日	同上	18人 (3)	同上
同年9月21日	同上	15人 (2)	同上
同年9月23日	同上	8人(2)	同上
同年9月28日	同上	11人 (2)	同上
同年9月30日	同上	7人(2)	同上
同年10月5日	同上	12人 (2)	同上
同年10月7日	同上	21人 (2)	同上
同年10月12日	同上	20人 (3)	同上
同年10月19日	同上	10人 (2)	同上
同年10月26日	同上	15人	同上

		(2)	
同年11月9日	同上	11 人 (2)	同上
同年11月11日	同上	12 人 (2)	同上
同年11月16日	同上	13 人 (2)	同上
同年11月23日	同上	10 人 (2)	同上
同年11月25日	同上	17 人 (2)	同上
同年11月30日	同上	14 人 (2)	同上
同年12月7日	同上	10 人 (2)	同上
同年12月9日	同上	13 人 (2)	同上
同年12月14日	同上	12 人 (2)	同上
同年12月17日	同上	20 人 (2)	Caféを光寿園のクリスマス会の舞台とし、施設入居者の皆さま、施設職員の皆さまと交流を行った。
同年12月21日	同上	15 人 (2)	10代のボランティアスタッフがCafé通常営業を実施。
同年12月23日	同上	11 人 (1)	同上
同年12月28日	同上	10 人 (1)	同上
令和6年1月11日	同上	11 人 (2)	同上
同年1月13日	同上	10 人 (2)	同上
同年1月18日	同上	35 人 (3)	10代のボランティアスタッフ・地元有志がCafé通常営業を実施。光寿園の敷地内でグラウンドゴルフをしている地域住民の皆さまにも来店いただいた。
同年1月25日	同上	15 人 (2)	10代のボランティアスタッフがCafé通常営業を実施。
同年1月27日	同上	12 人 (2)	同上
同年2月1日	同上	12 人 (2)	同上
同年2月8日	同上	13 人 (2)	同上
同年2月10日	同上	14 人 (2)	同上
同年2月15日	同上	10 人 (2)	同上
同年2月22日	同上	13 人 (3)	「光寿園デイサービスお茶会」開催。 同施設にデイサービスで通院している皆さまを対象に、お茶会を開催。多人数で混乱が生じることを避けるため、2日に分けて開催した。

同年2月24日	同上	14 人 (3)	同上
同年2月29日	同上	10 人 (2)	10代のボランティアスタッフがCafé通常営業を実施。

< 効果と成果 >

法人設立年度最初の事業ということもあり、資金面で非常に苦しく、当初計画における目標開店回数は10回、目標来客数は120名だったが、結果としてこれを遥かに上回る定量的・定性的成果を達成することができた。若いボランティアスタッフはやる気に充ちており、「楽しいCaféの空間をいかに存続させるか」という共通認識の下、サービス品質向上のための節約と工夫に知恵を絞り、その姿を見た地域の皆さまから、食器類や着物の端材など、様々な物品の寄贈があった。当事業の目的である「地域の世代間交流」については、Caféの客層の多様さから、その成果を測ることができた。施設職員の皆さま、施設入居者の皆さま、地元自治会の皆さま、県立夢前高校関係者の皆さま、地域外からわざわざ来訪していただいた皆さま。常連客が増えるにつれて、「LIFE NOTE」に綴られたメッセージの中にも、「Caféの存続を願う声」が増え、当事業の意義と効果をスタッフ全員で感じられた。Café収益は目標値を大幅に上回り、事業開始時点に比べ、当法人の支援会員にあたる「むすびめ会員」は40名以上増加した。

< 今後の展望 >

Caféに設置した「困り事掲示板」に寄せられた意見から、地域の抱える大小様々な課題を発見することができた。当団体の強みである「若い世代の力」を活かし、次年度より解決手段を模索していく。その手段として、困り事解決とCafé運営に充てるマンパワーの不足を補うため、IT技術の活用を検討。オンライン上で参加者を募集するマッチングサイトの開設や、オンラインによる接客サービスの実装を予定している。また、Caféに場所を提供していただいている光寿園との関係強化にも努める。光寿園は当事業に「施設入居者の参加」を期待しており、日々のやりがいを求めている施設入居者に「カフェ店員のサポート」という役割を与えたいと考えているため、今後はその体制を整えていく。Café自体の存続のため、サービス品質の向上と収益増加を図り、補助金に頼らない自走を目指す。今後の発展性としては、同様の協働相手として、域内の障害者支援施設との連携を期待している。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
自己資金	3,956
合計	403,956

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額(円)
直接 経費	備品費	83,520	80,000
	木工・竹工製造器具費	78,364	150,000
	カフェ事業消耗品費	73,850	4,000
	その他(調理機材費等)	168,222	130,000
	小計	403,956	400,000
間接経費(一般管理費)		0	0
合計		403,956	400,000